

第1回・第2回商工政策審議会 委員意見一覧

参考 8

委員の意見【件数】	委員名	取組の方向性
指針1：中小企業の経営力強化と起業の促進【10件】		
既存の補助金については、具体的にどのような支援が必要とされているのかを考える必要がある。デジタル化推進、DX促進については、中小企業も今後必要なことなので、補助対象として継続してほしい。	鴨田委員	方向性①経営基盤の強化
ビジサポでの経営支援やセミナーについて、どのくらいの回数・時間が必要なのかの情報が不足している。起業家は急いでいるケースが多いので、全体像を見せる工夫を。	前原委員	
家賃高騰に対し、事業者は値上げ交渉対応、大家は適切な値上げ交渉が必要。それぞれのニーズを踏まえ、家賃に注目した相談システムを検討していただきたい。	大澤委員	
補助金は、事業者にとって収入として固定化する状況にならないよう、自走につながるような仕組み作りが大切。	井上委員	
としまMONOづくりメッセは、駅からのアクセスが不便だと感じる。また、名称と異なり出展業種が混在した印象なので、特定分野にエッジを立てるなど集客の工夫が必要。	小木曽委員	方向性②多角的なビジネス支援
池袋の人流のある立地で、スタートアップの事業や商品を展示するスペースを設け、販売やアンケート調査ができる仕組みがあると良い。	小木曽委員	
創業間もない人は金融機関の口座開設が難しい。金融機関に対する信用力の付け方をサポートしてあげると創業がしやすい街になるのではないかな。	前原委員	方向性③あらゆる人材へのスタートアップ支援
大学へ人材を派遣してアントレプレナーシップ教育を行えば種まきになるのではないかな。若い方は発想も違う。若い方の負担を少しでも軽減できるような支援が必要。	鴨田委員	
スタートアップ支援は、どのような業種を集積させるか、分野を絞ることも必要。それが池袋や豊島区のブランドイメージを表現することにつながる。	金子委員 前原委員 大澤委員	
若い方がスタートアップを目指す場合は、若者が多いまちである渋谷区を選ぶケースもあると聞く。豊島区でも、若手を引き込むための具体的な施策を講じて欲しい。	藤川委員	
指針2：持続可能な商店街に向けた活性化支援【1件】		
商店街や町会が合併をしようと検討する際の支援を充実させれば、体力のない商店街が大きいところと合併し、地域の活性化につながる。	前原委員	方向性③安全・安心で持続可能な商店街づくり
指針3：これからの産業を支える人材の育成と多様な働き方の推進【6件】		
人手不足解消の手段として、DX化の推進は不可欠。DX化を含めた様々な課題解決にチャレンジできる街になってほしい。	神村委員	方向性①中小企業における人材確保支援
各所での人材不足問題を、豊島区在住の外国人と一緒に解決していくこと、これこそがSDGs、国際都市に向けた一つの大きなステップになる。	金子委員	
賃金を上げないと社員が辞めてしまう実態がある。国の補助金はハードルが高く利用しづらいため、区独自の賃上げ補助金を創設していただきたい。	藤川委員	
大学生は地元企業との接点がなく、企業特性や働き方について知らない。大学と地域団体や区が連携し、学生と地元企業が接点を持てる場をつくることで、学生がこれからの働き方を想像できるようにしたい。	佐藤委員	方向性②人材の育成と事業承継
事業承継が一番の問題と感じている。次世代、若い世代に継承していくというところに、もう少し支援策があると良い。	森本委員	
中小企業の経営では「人を大切にする経営」が重要。	福田委員	方向性③職場環境の充実

委員の意見【件数】	委員名	取組の方向性
指針4:観光振興による地域社会・経済の好循環化【2件】		
京都での展示会に参加した際、インバウンドが多くオーバーツーリズムを実感した。オーバーツーリズムになる前に事前に受け皿を作ることが、自治体において必要。	小木曾委員	方向性②誰もが観光を楽しめる環境の整備
インバウンド対策としてキャッシュレス化を進めたいという声が多い。キャッシュレス手数料の区独自補助を導入してはどうか。	鈴木委員	
指針5:未来へつながる消費者市民社会の形成【1件】		
消費者教育は重要だが、情報を自分から取りにいけないと気づけない。豊島区の消費生活講座などをより多くの人に参加できるよう広げていきたい。	森本委員	方向性②消費者の権利とつかう責任の啓発

その他意見【9件】 ※産業振興指針に位置づけられないものも含む	委員名	分野
悪天候でも子どもがのびのびと遊べるような屋内型施設が少ない。施設の周りの店舗や商店街で飲食をしたり買い物をすることにつながる可能性もあり、連動する経済的な仕組みを考慮することも大切。	小木曾委員	子育て
大学として地域連携する際は、個別のゼミではなく大学全体で取り組むと継続性が高まる。ぜひ、区にリーダーシップをとり調整役を担って欲しい。	佐藤委員 郭会長	教育 公民連携
「池袋のブランディング」とは何か考えていかなければいけない。「池袋に遊びに行きたい」、「働きたい」、さらには「住みたい」という人をどう増やしていくのが重要。	金子委員	まちづくり
まちが美しくないと人は寄ってこない。「安心して楽しく綺麗に」という環境が必要。タバコも落ちていなくて、自転車も置かれていなくて、マナーが悪い状況を規制する必要がある。	千野委員	環境
飲食店が増え活気ある街になっている点は良いのだが、それに伴いネズミが街中を徘徊している。ゴミ問題にも関連するが、何らかの対策を講じて欲しい。	藤川委員	環境
SDGsに関係する取組として、例えば食品ロスを解決するためのローリングストックについて啓蒙活動ができる機会があれば良い。	森本委員	SDGs
コンテンツビジネスは非常に底力がある。練馬、杉並のようなアニメ産業の街と近接している立地、サブカルの発展地である強みを活かし、「コンテンツビジネスなら豊島区」というブランディング確立を期待したい。	神村委員 大澤委員	産業 マンガ・アニメ
「池袋エリアプラットフォーム」が保有する人流分析データ（JCBクレジットカード利用状況の消費動向分析、池袋周辺の人流・回遊情報）を、地域の中小企業が経営方針を検討する中で活用いただくのはどうか。	金子委員	産業 公民連携
豊島区は交通の便が良いので、東大や理研など研究機関の技術を事業化する試みを豊島区内でやってもらうのはどうか。	大澤委員	産業